

景気ウォッチャー調査

平成12年5月調査結果

平成12年6月15日

経済企画庁調査局

調査の概要

1. 調査の目的

地域の景気に関連の深い動きを観察できる立場にある人々の協力を得て、地域ごとの景気動向を的確かつ迅速に把握し、景気動向判断の基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の範囲

(1) 対象地域

北海道、東北、関東、東海、近畿、九州の6地域を対象とする。各地域に含まれる都道府県は以下のとおりである。なお、平成12年1月調査は関東を除く5地域を対象とした。

地域	都道府県
北海道	北海道
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、新潟
関東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
東海	静岡、岐阜、愛知、三重
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
全国	上記の北海道、東北、関東、東海、近畿、九州の計

(2) 調査客体

家計動向、企業動向、雇用等、代表的な経済活動項目の動向を敏感に反映する現象を観察できる業種の適当な職種の中から選定した1地域当たり100人、合計600人である。調査客体の地域別、分野別の構成については、別紙を参照のこと。

3. 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1)の理由
- (3) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (4) (3)の理由
- (参考) 景気の現状に対する判断（水準）

4. 調査期日及び期間

調査は毎月、当月時点であり、調査期間は毎月25日から翌月1日である。

5. 調査機関及び系統

経済企画庁が主管し、各調査対象地域に地域ごとの調査を実施する「地域別調査機関」を1か所ずつ設けるとともに、各地域別調査機関による地域ごとの調査結果を集計・分析する「取りまとめ調査機関」を1か所設け、これらの機関に本調査業務を委託して実施したものである。

(取りまとめ調査機関)	財団法人 日本経済研究所
(地域別調査機関)	北海道 株式会社 北海道二十一世紀総合研究所
	東 北 財団法人 東北開発研究センター
	関 東 財団法人 日本経済研究所
	東 海 株式会社 東海総合研究所
	近 畿 株式会社 大和銀総合研究所
	九 州 財団法人 九州経済調査協会

6. 有効回答率

地域	調査客体	有効回答客体	有効回答率	地域	調査客体	有効回答客体	有効回答率
北海道	100人	100人	100.0%	東海	100人	99人	99.0%
東北	100人	98人	98.0%	近畿	100人	96人	96.0%
関東	100人	93人	93.0%	九州	100人	94人	94.0%
				全国	600人	580人	96.7%

目 次

概要	1
1．景気の現状に対する判断	2
(1) 全国の動向	2
(2) 各地域の動向	2
(3) 景気の現状に対する判断理由	3
2．景気の先行きに対する判断	14
(1) 全国の動向	14
(2) 各地域の動向	14
(3) 景気の先行きに対する判断理由	15
(参考) 現在の景気水準に対する判断	23
(別紙) 景気ウォッチャー(調査客体)の地域別・分野別構成	24

利用上の注意

1. 景気ウォッチャー調査は、本年より新規に行う調査であることから、当面の間、試行的に実施するものであり、今後、必要に応じ変更することもあり得る。
2. 分野別の表記における「家計動向関連」、「企業動向関連」、「雇用関連」は、各々家計動向関連業種の景気ウォッチャーによる景気判断、企業動向関連業種の景気ウォッチャーによる景気判断、雇用関連業種の景気ウォッチャーによる景気判断を示す。なお、このうち雇用関連業種は、主として企業の求人動向に関連した業種である。
3. 表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、計と内訳は一致しない場合がある。

DIの算出方法

景気の現状、又は、景気の先行きに対する5段階の判断に、それぞれ以下の点数を与え、この点数で回答結果の構成比(%)を加重平均して、DIを算出した。

評価	良くなっている (良い)	やや良くなっている (やや良い)	変わらない (どちらとも言えない)	やや悪くなっている (やや悪い)	悪くなっている (悪い)
点数	+ 1	+ 0 . 7 5	+ 0 . 5	+ 0 . 2 5	0

概 要

1. 景気の現状に対する判断

3か月前と比較しての景気の現状に対する判断は、以下のとおりであった。

図表A 全国における景気の現状判断D I
(D I) 平成12年

	3月	4月	5月
合計	55.2	55.2	50.2
家計動向関連	53.3	52.9	47.4
企業動向関連	57.0	59.4	57.4
雇用関連	66.7	65.0	56.4

図表B 各地域における景気の現状判断D I
(D I) 平成12年

	3月	4月	5月
全国	55.2	55.2	50.2
北海道	51.5	44.0	43.3
東北	54.1	56.2	50.8
関東	53.8	55.7	50.3
東海	59.8	58.2	56.6
近畿	53.1	58.1	47.1
九州	58.7	59.7	53.2

2. 景気の先行きに対する判断

2～3か月先の景気の先行きに対する判断は、以下のとおりであった。

図表C 全国における景気の先行き判断D I
(D I) 平成12年

	3月	4月	5月
合計	54.9	55.5	54.2
家計動向関連	53.8	53.5	52.7
企業動向関連	53.8	58.5	56.5
雇用関連	67.2	66.1	61.7

図表D 各地域における景気の先行き判断D I
(D I) 平成12年

	3月	4月	5月
全国	54.9	55.5	54.2
北海道	52.0	46.0	50.0
東北	54.6	57.2	54.6
関東	52.5	57.2	55.4
東海	60.3	59.7	58.6
近畿	54.4	57.5	54.2
九州	55.3	55.6	52.7

1. 景気の現状に対する判断

3か月前と比較しての景気の現状に対する判断は、以下のとおりであった。

(1) 全国の動向

分野別の景気の現状判断D I

図表1-1-1 各分野における景気の現状判断D Iの推移表

(D I)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
合計	45.3	48.6	55.2	55.2	50.2	
家計動向関連	43.4	47.0	53.3	52.9	47.4	
小売関連	42.7	48.1	51.9	51.2	44.4	
飲食関連	44.0	40.8	54.3	48.3	44.6	
サービス関連	44.3	47.3	55.1	57.0	51.1	
企業動向関連	45.8	49.1	57.0	59.4	57.4	
雇用関連	58.9	60.7	66.7	65.0	56.4	

(備考) 1月は関東を除く5地域の合計。

(2) 各地域の動向

地域別の景気の現状判断D I (各分野計)

図表1-2-1 各地域における景気の現状判断D Iの推移表 (各分野計)

(D I)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全国	45.3	48.6	55.2	55.2	50.2	
北海道	45.3	47.0	51.5	44.0	43.3	
東北	42.3	46.8	54.1	56.2	50.8	
関東		47.0	53.8	55.7	50.3	
東海	51.8	53.8	59.8	58.2	56.6	
近畿	43.3	48.2	53.1	58.1	47.1	
九州	42.9	48.7	58.7	59.7	53.2	

地域別の景気の現状判断D I (家計動向関連)

図表1-2-2 各地域における景気の現状判断D Iの推移表 (家計動向関連)

(D I)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全国	43.4	47.0	53.3	52.9	47.4	
北海道	43.4	46.1	50.3	40.3	39.6	
東北	39.0	44.9	52.5	54.6	46.5	
関東		46.6	51.5	55.1	48.9	
東海	50.7	51.4	57.5	54.9	57.3	
近畿	41.7	46.5	52.3	56.7	43.4	
九州	41.2	46.4	55.6	56.8	48.5	

(3) 景気の現状に対する判断理由

景気の現状に対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

北海道

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	家電量販店(店員)	・店全体の売上はそれほど変わっていないが、パソコンやエアコンがかなり売れている。
		高級レストラン(スタッフ)	・ビジネス客や各種宴会の受注が増加している。
		スナック(経営者)	・ゴールデンウィーク以降の客の出足が少し良くなっている。
	変わらない	商店街(代表者)	・ゴールデンウィークを含めて、観光客の利用が減少したままであり、飲食、土産ともに引き続き低調である。
		百貨店(売場主任)	・ミセス層の購買力は上昇しているが、それ以外の層ではむしろ買い控えの傾向がある。
		スーパー(店長)	・ゴールデンウィーク明けの客の購買意欲が悪くなっている。
		コンビニ(エリア担当)	・必要な物だけを買う状態が続いている。また、まとめて買うときも単価が安い物を買っている。
		家電量販店(店長)	・来客数がやや落ち込んだ状態が続いている。 ・単品買いも多く、消費者に余裕がみられない。
		旅行代理店(従業員)	・有珠山の問題があって今一つはかばかしくないが、法人の需要は出てきている。
		タクシー運転手	・客の話によれば、有珠山噴火の影響で観光、珍味加工、ホテル業ともかなり悪い状態が続いている。
		美容室(経営者)	・来客数も固定客の来店頻度も変化がなく、新しい客も増加していない。また、サービスの単価もやや上昇してきている程度である。
	やや悪くなっている	商店街(代表者)	・ミセス層の購買力は強いが、学生、若年OLの購買が非常に悪く、全体的にみるとやや悪い。
		百貨店(売場主任)	・呉服、宝飾が良く、服飾雑貨、食品関連が若干伸びているものの、婦人服、子供服が不振であり、全体としてはやや悪くなっている。
		百貨店(売場主任)	・売上が減少してきており、特に婦人服の落ち込みが顕著である。
		百貨店(売場主任)	・高額品の動きが悪くなっている。まとめ買いをせず、必要な物だけを買っている。
		スーパー(店長)	・5月は曜日周りが悪いということもあり、ゴールデンウィーク後の既存店舗の売上動向が非常に悪かった。
		スーパー(店長)	・客数は変わらないが、客単価、一点単価、商品の回転数が低下している。
		スーパー(店長)	・先月まで好調だった食料品の売上が、今月後半から急激に落ち込んでいる。
		家電量販店(経営者)	・客との会話のなかでは、連休明けから人出が非常に落ち込んでおり、景気が少し悪いという意見が多い。
		乗用車販売店(経営者)	・ユーザーの購入意欲が盛り上がらないので、売上が伸びず、やや悪くなっている。
		自動車備品販売店(店長)	・客数が減少している。 ・高額商品のタイヤ、オーディオ等の売上が落ちている。
		高級レストラン	・今年のゴールデンウィークは大型連休のため観光客の来店はいくぶん良かったが、その後は悪い。有珠山の影響がまだある。
スナック(経営者)		・平日は、街を歩いている人よりも客待ちのタクシーのほうが多い。	
スナック(経営者)	・連休明けから客足が極端に落ちている。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		タクシー運転手	・売上の減少が続いており、実際に仕事をしていると、景気は底打ちしていないと感じる。
		タクシー運転手	・以前は病院の通院に高齢者がタクシーを利用していたが、現在は患者獲得のために、病院が患者の送迎を始めたため、売上が減少している。
		美容室（経営者）	・客数、客単価ともに良くない。 ・景気が回復するような話をする客もいない。
	悪くなっている	衣料品専門店（店長）	・衣料品が売れなくなっている。売れたとしても安いものが中心なので、売上は減少する一方である。
		高級レストラン（経営者）	・ゴールデンウィークの反動と有珠山噴火の影響などで、悪いというより非常に悪いという状況である。
		スナック（経営者）	・宴会が減少している。また、官庁関連の客との交流が全くなかった。
		観光型ホテル（役員）	・洞爺湖は4月から休業状態で売上はない。登別は風評被害で前年を大きく下回っている。ただし、定山溪は5月から売上が大きく上昇している。
タクシー運転手	・歩合給がつかず、基本給のみであった仲間が20人から30人いたようだ。		
企業動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業（経営者）	・物、人の流れが多少上向いてきた。特に連休は昨年よりやや良かった。
		非製造業[建設機械レンタル]（総務担当）	・毎朝7時前から、ユーザーからの電話注文が入ってきている。また、飛び込みの客も増加してきている。
		非製造業[建設機械リース]（営業担当）	・仕事の引き合い等が多くなっており、上向いている。
		その他企業[コンベンション担当]	・5月は前年比である程度の売上は確保できた。有珠山噴火の影響も薄れてきて、多少良くなっている。
	変わらない	輸送業（総務担当）	・徐々に引き合いがきているが、全体的にみると一般貨物の取扱量は変化していない。
		輸送業（支店長）	・物流面からみると、輸入貨物コンテナの取扱量は順調に伸びているが、国内の物流は、依然として荷動きが低迷している。
やや悪くなっている			
悪くなっている	-	-	
雇用関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・事業拡大、安定という方向に向けて、人材へのニーズが高まっている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・求人情件数が今まで程の勢いはないものの、引き続き増加傾向にある。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・5月に入っても求人情件数が増加している。
		新聞社[求人広告]（担当者）	・車両、不動産広告関連の企業からの出稿が伸びている。ただし、他の業種では伸び悩んでいるところもあり、必ずしも楽観視できない。
	変わらない	新聞社[求人広告]（担当者）	・求人数は増加しているが、正社員からパートにシフトしている傾向が強い。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	・最近の求人情件数が減少している。スナック等、夜の仕事に関する求人も少なくなっている。
		新聞社[求人広告]（担当者）	・住宅産業の低迷が続いており、土建関係も悪くなっている。
	悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	・地元業者の指名停止による公共工事の執行の遅れと、当地域の木材関係の倒産によって、雇用状況が悪化している。

東北

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	商店街（代表者）	・連休明けは例年通り消費が落ちているが、給料日と同時に売上が増加しており、マインドは良くなっている。
		百貨店（企画担当）	・売れる商品と売れない商品がはっきり分かれてきているが、衣料品の売上が増加している。
		インテリア専門店（従業員）	・売上にはまだつながっていないものの、来客数が増加してきている。
		高級レストラン（経営者）	・人も物も少しずつ動いてきており、明るい材料である。
		一般レストラン（経営者）	・客単価は相変わらず低いが、法人利用が少しずつ増加している。
		テーマパーク（職員）	・予約段階で東北地域以外の客の申込が増加している。
		旅行代理店（従業員）	・ゴールデンウィークは国内旅行が不調であったものの、海外旅行はヨーロッパなどの長期滞在型商品が比較的堅調に伸びている。
		美容室（経営者）	・連休以降、少しずつ客数が増加してきている。
		美容室（経営者）	・客の動きとして、先行きの不安感よりも安心感が出ている印象を受ける。
	変わらない	百貨店（企画担当）	・中旬以降の低温の影響もあり、衣料品、装飾品関係が依然苦戦している。特にヤングキャリア層の動きが鈍い。
		百貨店（売場主任）	・ゴールデンウィークは行楽へ出かける客が多く、駅前商業施設への来客数は圧倒的に少なかった。 ・気温上昇に伴う夏物衣料や、母の日ギフトに動きもみられたが、全体としては変わらない。
		スーパー（企画担当）	・単価の低下は止まらず、低価格志向はむしろ強まっている。 ・チラシ配布の効果は続かず、客がチラシをもって買い回りしている姿が多くみられる。
		乗用車販売店（従業員）	・新車販売は依然として前年割れであり、特にトラック、商用車は活気がない。
		一般レストラン（経営者）	・売上が低調なまま全く良くなっていない。 ・客の話を聞いても、できるだけ外食を控える声が圧倒的に多く、回転寿司では、一皿でも節約しようとする客がみられる。
		観光型ホテル（経営者）	・5月は例年本格的な観光シーズンに入るが、今年は総選挙の影響が大きく、売上は横ばいだが、観光客の入込数が1割減で推移している。
		都市型ホテル（スタッフ）	・ホテルの宴会は件数こそ変わらないものの、単価は依然として低下している。
		タクシー運転手	・相変わらず乗客が少ない。 ・タクシーチケットを利用する客が少ない。
		やや悪くなっている	一般小売店〔お茶〕（経営者）
	スーパー（店長）		・今年の連休は大型だったので、レジャー産業や外食産業は好調のようであったが、スーパーやデパートなどの小売業は苦戦している。
	スーパー（企画担当）		・競合他社がチラシに100円均一商品を投入しており、当社も減収覚悟でやらざるを得ない。
	衣料品専門店（店長）		・気温が上昇し夏物が売れてきたが、高額なスーツ、礼服などの需要は動かず、ワイシャツ、スラックス、ネクタイなど小物しか売れていない。
	その他専門店〔酒店〕（経営者）		・ゴールデンウィークから月末にかけて、予想以上に売上が伸び悩んでいる。
	高級レストラン（スタッフ）		・選挙の影響か、客の利用状況が悪い。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		高級レストラン（スタッフ）	・個人客の利用は通常給料日後には多くなるが、今月は財布のひもが固く、個人客数が減少傾向になってきている。
		スナック（経営者）	・今までそれほど景気に左右されなかった常連客や若者たちの来店回数が減少してきている。
		遊園地（経営者）	・ゴールデンウィーク、週末と天候が悪く、客数が伸び悩んでいる。
		住宅販売会社（経営者）	・住宅の着工はある程度あるが、受注が減少傾向にある。
	悪くなっている	スーパー（総務担当）	・売上の減少が続いており、悪くなっているとしかいいようがない。
		スナック（経営者）	・売上が減少傾向にある。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業（従業員）	・ゴールデンウィークの期間が長かったため、土産品の出荷が増加している。
		広告代理店（従業員）	・広告の出稿量が増加している。
		広告代理店（従業員）	・ブレ国体、サッカーの国際大会が予定されていることや、決算が顕著な伸びを示した企業が比較的多かったことから、出稿量の増加など好影響が出ている。
		輸送業〔航空貨物〕（従業員）	・取扱量の増加に伴う専用便の大型化など、貨物量の伸びが順調に推移している。
		経営コンサルタント	・設備投資や人材教育など前向きな相談内容が増加している。
	変わらない	電気機械器具製造業（経営者）	・受注の引き合いはあるが、成約まで時間がかかる。
		電気機械器具製造業（従業員）	・業界の中では半導体関連以外は動きがない状態である。
		広告代理店（従業員）	・広告受注のペースに大きな変化がみられない。
	やや悪くなっている	-	-
悪くなっている	-	-	
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・受注が増加傾向にあり、取引先への提案件数も増加している。
		人材派遣会社（社員）	・通信会社やIT関係の派遣需要が増加しており、仕事が忙しくなっている。
		人材派遣会社（社員）	・ITメーカーを中心に求人が増加しており、企業が前向きになって新たな人材投資を始めていると感じる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・求人広告はまだ少ないものの、情報・金融・証券関連が順調である。また、車両関連の求人が多くなっている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・人材派遣の受注は増加しておらず、リストラなど後ろ向きなものばかりである。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・求人は回復傾向にあるものの、流通・不動産などの柱となる業種の低迷が続いており、全体的には上向き傾向とは言えない。
	やや悪くなっている	-	-
悪くなっている	-	-	

関東

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	コンビニ（店長）	・客単価は3か月前と比べても依然として厳しいが、客数は増加傾向にある。
		乗用車販売店（従業員）	・来場者数が徐々に増加している。
		一般レストラン（店長）	・客単価は低いままだが、客数は増加している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊人員が伸びてきているので、やや良くなっている。
		旅行代理店（従業員）	・団体旅行者や個人旅行者が増えている。
		旅行代理店（従業員）	・店頭の来客数、取扱額が増加している。
	変わらない	百貨店（販売促進担当）	・ミッシー、ミセスにおいて、ブラウスでもジャケットとして着られる汎用性の高いタイプの商品がよく売れている。Tシャツも好調だが、手持ちの服との着回しを考え、無駄な消費はしないようである。
		百貨店（売場主任）	・先月まで延びていた来客数が、今月からは横ばいになっている。客の購買動向も日用品が中心で横ばいである。
		スーパー（統括）	・食品関連は順調に業績が伸びている。夏物の衣料・生活関連商材は相変わらず厳しい。 ・客数は増加しているが、客単価や売上点数の減少は続いている。
		スーパー（経営者）	・来客数は増加しているが、平均単価が漸次低下している。
		衣料品専門店（従業員）	・衣料、雑貨を含め単品購入が多く、単価も低い。ただしブランド品は比較的順調である。
		乗用車販売店（従業員）	・新型車が発売となったが、売上が伸びない。
		高級レストラン（支配人）	・宴会の受注が若干減少している。 ・株主総会を自社で開催したり、役員の食事会の単価が低下するなど、各社の経費削減が目に見えて分かる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宴会の予約状況等が芳しくない。公務員倫理法ができたこともあり、客の動きが鈍い。
		競馬場（職員）	・入場者数、売上金額ともにこの3か月同水準で推移している。1人当たりの売上も同様である。
		住宅販売会社（従業員）	・3か月前に比べ、商談が増えてもいまいし減ってもいない。
	やや悪くなっている	一般小売店〔お茶〕（経営者）	・5月連休後の客の買い控えや、真夏日が続くなど気温上昇の影響を受け、売上が落ち込んでいる。
		一般レストラン（経営者）	・5月から客足が急に止まった。 ・ケータリングも、公務員倫理規定で役所関係の飲食が禁止されたためなくなり、売上が減少している。
		スナック（経営者）	・客数が減少している。 ・来店客がタクシーで帰らず、電車の時間を気にしている。
		旅行代理店（従業員）	・ゴールデンウィーク期間中が良かった反動で、客数が減少している。
		タクシー運転手	・5月後半には、ゴールデンウィークでの出費の反動が、タクシーの利用率が下がっている。
		その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・売上が減少している。
悪くなっている			
企業動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	・受注増で対応に追われる会社が増えている。
		精密機械器具製造業（経営者）	・規格の単品ものなどがかなり出てきており、連休明けはこの工場も忙しい状況であった。ただし、継続性のある品物は依然出てきていない。
		その他製造業〔印刷〕（経営者）	・通常だと大型連休明けは一段落するが、会社の設立関係で注文がきており、業況は上向きになっている。
		輸送業（統括）	・コンビニエンスストアへ食品の輸送、搬入を行っているが、取扱量の減少は全くみられず、仕事は忙しさを増している。
	その他企業〔情報サービス〕（従業員）	・客からの設備投資に関する相談件数が増加しており、投資に対する景気の回復が若干みえている。	
変わらない	その他製造業〔金属製品〕（総務担当）	・思ったほど受注量はなく、相変わらず単価も厳しい。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		非製造業[廃棄物処理](経営者)	・注文数、問い合わせ数が若干増えているようにも感じられるが、価格競争が激しく、景気が上向いているとは言いにくい。
	やや悪くなっている	その他製造業[プラスチック製品](経営者)	・5月の連休明け以降、受注、問い合わせ、新規見積りが減少している。
	悪くなっている		
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社(社員)	・派遣先からの求人が増えている。この傾向は年度初めから続いており、企業の求人意欲がおう盛である。
		求人情報誌制作会社(営業担当)	・問い合わせ件数が増加している。
	変わらない	人材派遣会社(社員)	・全体として雇用状況に変化はない。未だ統合や合併による人員整理を実施する企業がある反面、必要最低限の雇用を確保しようとする企業も出てきており、二極分化がみられる。
	やや悪くなっている	人材派遣会社(社員)	・売上や客数が増加しないために、売場の撤去が続いて解雇者が出ている。 ・長期勤務者の手数料の削減がある。
		新聞社[求人広告](営業担当)	・売上の減少に伴い、利益を生み出すための経費節減が行われる。そのため、募集費用の削減傾向が著しく、値引きを要求される。
	悪くなっている	-	-

東海

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	一般小売店[土産](経営者)	・客単価は低下しているが、客数は増加している。
		都市型ホテル(スタッフ)	・ゴールデンウィークの客単価が例年より高くなっている。
		テーマパーク(職員)	・ゴールデンウィークの来客数が予想以上に増加している。
		住宅販売会社(従業員)	・マンション購入に前向きな客が増加している。
	やや良くなっている	百貨店(販売促進担当)	・婦人服に動きが出ている。 ・様々な商品が売れるようになり、客が販売促進策にも反応するようになってきている。
		百貨店(売場主任)	・一部高額商品等に動きが出ている。
		スーパー(店長)	・売上が増加し、客の衝動買いも増えている。
		スーパー(店長)	・客単価がやや上昇している。
		スーパー(店長)	・少し値段が高くても、良い商品は良く売れている。
		家電量販店(店員)	・売上等の数字がかなり良くなってきている。
		乗用車販売店(従業員)	・販売台数が増加している。
		スナック(経営者)	・連休があったにもかかわらず客数が増加している。
		観光型ホテル(スタッフ)	・パーティー、宴会でのコンパニオン需要が7%程度伸びている。
		都市型ホテル(スタッフ)	・客からの問い合わせが増えている。
	住宅販売会社(従業員)	・住宅の契約などに対して、客の決断がやや早くなっている。	
	変わらない	商店街(代表者)	・客単価の上昇がなく、自家消費にも変化はない。
百貨店(企画担当)		・来客数が横ばいで、景気回復の目安とされる紳士服、法人需要も勢いがいい。	
スーパー(店長)		・夕方の食料品等見切り品の売行きが良くなり、質的には変わってきたが、依然として客数、客単価は横ばいである。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		コンビニ（エリア担当）	・客単価の低迷が続いている。
		コンビニ（店長）	・3か月前には5月の状況が良くなると思っていたが、良くなっていない。
		家電量販店（経営者）	・来客数は増加しているが、客単価が低下している。
		その他専門店[雑貨]（店員）	・客数、客単価ともに横ばいである。
		乗用車販売店（従業員）	・新商品は良く売れている一方で、従来品は伸び悩んでいる。
		高級レストラン（スタッフ）	・日によって客数に波がある。
		テーマパーク（職員）	・客数が天候やイベントの有無に左右される状況が続いている。
		テーマパーク（職員）	・ゴールデンウィークは堅調であった。
		タクシー運転手	・法人、個人ともに変化がみられない。
	やや悪くなっている	一般小売店[土産]（営業幹部）	・個人消費が依然として低迷している。
		百貨店（販売促進担当）	・セントラルタワーズの開店効果も薄れ、限られた需要を分け合う状況になってきている。
		百貨店（売場主任）	・客数が大幅に減少している。
		コンビニ（店長）	・単価の低い発泡酒の比率が増加している。
		スナック（経営者）	・2、3月の売上は前年より増加したが、4、5月の売上が前年より減少している。
		ゴルフ場（経営者）	・ゴルフ業界では値引き競争が激化している。
		タクシー運転手	・夜間の客が減ったため、売上が減少している。
	悪くなっている	-	-
企業動向関連	良くなっている	税理士	・IT関連の下請業者で、創業以来の業績を上げている企業がいくつか出てきている。
	やや良くなっている	経営コンサルタント	・開業関係の申請の人で、法務局が混み合っている。
	変わらない	輸送業（エリア担当）	・貨物の取扱量は増加しているが、単価が低下する一方である。
		司法書士	・3、4月と実績が増加していたが、5月は横ばいである。
		会計事務所（所長）	・業績が上向きの会社もみられる一方で、廃業や借入の返済ができない等の客も増えてきている。
	やや悪くなっている	輸送業（エリア担当）	・荷動きが非常に低調である。
悪くなっている	-	-	
雇用関連	良くなっている	求人情報誌制作会社（編集者）	・IT関連だけでなく、土木・建築、住宅など全般的に景気の良さが広がりつつある。
	やや良くなっている		
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・派遣社員、契約社員ともに、ほぼ横ばいに推移している。
		人材派遣会社（社員）	・短期派遣の需要が中心で、長期派遣にまで結びついていない傾向が続いている。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・前年より良くなっているが、3か月前との比較では横ばいで推移している。
		求人情報誌制作会社（編集者）	・今月は求人数増加の伸びが鈍化している。
		新聞社[求人広告]（担当者）	・求人広告が昨年12月から6か月連続で2けた増である。 ・採用に意欲的になってきた企業もあるが、3か月前と比べると横ばいである。
	やや悪くなっている		
悪くなっている	-	-	

近畿

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	商店街(代表者)	・商品単価は余り変わらないが、客数の増加により売上が伸びている。
		商店街(代表者)	・慎重ではあるが、消費、買物を楽しみたいという客が増加している。
		その他専門店[時計](経営者)	・購買意欲が高まり、来客数が増加している。
		乗用車販売店(営業担当)	・来店客が増加している。 ・小型の商品がよく売れている。
		旅行代理店(営業担当)	・平日でも空港で多くの旅行客をみかけるようになった。
		美容室(経営者)	・少しずつ客単価が上昇している。
		住宅販売会社(営業担当)	・契約には結びついていないが、客の動きは非常に活発になってきており、引き合いも多い。
		その他住宅[展示場](従業員)	・住宅展示場の来客数が増加している。
	変わらない	商店街(代表者)	・ファッション関係で特に目立つヒット商品が出てきていない。
		百貨店(売場主任)	・婦人服は善戦しているが、紳士服は常に苦戦しており、全般的に横ばいの状況が続いている。
		百貨店(売場主任)	・男女ともヤング対象の衣料品の低迷が続いており、売上の上昇のけはいがみえない。
		スーパー(経理担当)	・小売店の出店が相次ぎ、消費者は価格競争に目を向けており、購買単価が変わらない。
		その他専門店[薬](経営者)	・低価格品の目的買いのみで、衝動買い、関連買いは極めて少ない。
		乗用車販売店(営業担当)	・販売台数が余り変わらない。
		高級レストラン(店長)	・昼夜にかかわらず、客数が少なく、客単価の低い状況が続いている。
		スナック(経営者)	・来客数にむらがあり、団体客が何組かある日もあったが持続性がない。
		観光型旅館(経営者)	・レストラン及び売店の売上に変化がない。
		都市型ホテル(スタッフ)	・客単価が低下したままで、改善の兆しがみられない。
		観光名所(経理担当)	・売上の伸び率が3か月前と余り変わらない。 ・客数は多いが、買上数には結びついていない。
		旅行代理店(営業担当)	・曜日の配列が良いことから、ゴールデンウィークは国内、海外とも好調であったが、その後、旅行申込は前年並みであり、本格的な回復はみられない。
		住宅販売会社(従業員)	・客の予算と見積とのかい離が非常に大きく、受注成約になるケースが少ない状況が続いている。
		やや悪くなっている	商店街(代表者)
	百貨店(売場主任)		・客数が減少しており、支出を控える姿勢がみられる。
	スーパー(経理担当)		・客単価が依然として下落している。 ・菓子などし好品の売上の減少が著しい。
	コンビニ(エリア担当)		・既存店の売上が減少している。
	家電量販店(経理担当)		・既存店の売上が前年比で3か月前より悪化している。
家電量販店(店員)	・来客数が減少している。		
卸売業[輸入ブランド品](経営者)	・小売業をみると、5月の連休から非常に悪くなっている。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		一般レストラン（スタッフ）	・昨年12月から今年4月までやや回復傾向にあると思われたが、ゴールデンウィーク以降前年並みとなっている。
		一般レストラン（スタッフ）	・6月の結婚式の予約はかなり入ってきているが、一般客の予約はほとんどない。
		観光名所（経理担当）	・ゴールデンウィークの人出が減少し、来館者はもとよりレストラン、物販店の売上も減少している。
		テーマパーク（職員）	・社員旅行などの団体旅行が非常に減少している。
		美容室（店長）	・客数が減少している。
	悪くなっている	コンビニ（経営者）	・売上が減少している。
		その他専門店[宝石]（経営者）	・チラシ、広告等を入れた場合の客の反応が悪い。来客数、買上点数、客単価全てにおいて3か月前を下回っている。
企業動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	一般機械器具製造業（経営者）	・受注が増加している。
		電気機械器具製造業（経営者）	・物の動きが活発になりつつある。
		電気機械器具製造業（経営者）	・若干ではあるが設備投資意欲が出てきている。
		広告代理店（営業担当）	・3か月前よりは若干良くなっているが、ここ1か月はやや足踏みとなっている。
		広告代理店（従業員）	・食品センターのチラシ、ポスターなどの制作、印刷やディスプレイなどの仕事が増加してきている。
		経営コンサルタント	・コンサルティング先の状況も横ばい若しくはやや上向きというところが増加してきている。
	変わらない	その他製造業[紙加工品]（経営者）	・ゴールデンウィーク後、とりわけ5月後半の売上が良くない。
		その他企業[自転車製造卸]（団体職員）	・出荷額が低迷している。
		その他企業[ネジ]（団体役員）	・生産数量は若干増加したが、出荷額は減少している。
	やや悪くなっている	司法書士	・受託件数が少ない。 ・今までほとんどなかった滞納家賃の請求を求めるといった内容証明の依頼が続いた。
	悪くなっている	繊維工業（経営者）	・大手の得意先が倒産したため、信用不安が更に広がっている。
		その他企業[タオル]（団体職員）	・輸入製品の影響を受け、受注数量が更に大幅に減少している。
	雇用関連	良くなっている	人材派遣会社（社員）
求人情報誌制作会社（編集者）			・関西圏の求人件数の前年比増が8か月続いている。
やや良くなっている			
変わらない		人材派遣会社（経営者）	・受注件数は多いが、終了件数も多く、横ばいで推移している。
		アウトソーシング企業（経理担当）	・売上は増加しているが、少し油断すると債権が不良化する傾向が出てきている。
やや悪くなっている		-	-
悪くなっている	-	-	

九州

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	商店街(代表者)	・季節の変わり目で夏物が出始めた。
		家電量販店(企画担当)	・宣伝効果もあって、全般的に客の買いたい商品が増えている。
		家電量販店(店員)	・価値の高い商品が良く出る。 ・客単価も上昇してきている。
		高級レストラン(スタッフ)	・客単価、客の顔、注文する料理の内容等からみて、良くなっている。
		スナック(経営者)	・連休で客数が少ないにもかかわらず、売上は減少していない。
		都市型ホテル(スタッフ)	・ゴールデンウィークの影響で5月は前年に比べ良い状況であり、3か月前と比べると若干良い。
		パチンコ店(従業員)	・先月より客の動きが活発になっている。
		タクシー運転手	・チケットの客や昼間のフリーの客が多くなってきている。
		住宅販売会社(従業員)	・銀行がローンを出し渋っている感じはあるが、展示場の来場者数も成約率も良くなっている。
	変わらない	商店街(代表者)	・まだ景気が戻ってないようで、人通りが大変少ない。
		百貨店(売場主任)	・ゴールデンウィーク中も苦戦し、3か月前から余り変わっていない。
		百貨店(販売促進担当)	・ヤング、紳士服の不調、客単価の減少がみられる反面、高級品は好調であり、ミセスの購買意欲が向上しているなど、消費の明暗がはっきりしている。
		スーパー(店長)	・客の消費がまだぎりぎりの状態で、価格に対して一層敏感になっている。
		コンビニ(店長)	・年明けは売上が良かったが、それ以上は上らず、状況は変わっていない。
		家電量販店(店長)	・パソコン関連商品、MD、DVD等のデジタル機器は好調だが、それ以外は単価が低迷している。
		スナック(店長)	・学会等があると少しは良いが、地元の客だけでは期待できない状況にある。
		ゴルフ場(従業員)	・客の出足、予約状況が低迷しており、去年より落ち込みそうである。
		パチンコ店(従業員)	・昼間に店で40~50代のサラリーマン風の客が目立つようになり、リストラの影響が心配される。
		美容室(経営者)	・前年に比べて良くなっていたが、5月に入ってから伸び悩んでいる。
		やや悪くなっている	商店街(代表者)
	商店街(代表者)		・依然として買い控えの状態にあり、客単価は低下しており、安い商品しか出ない。
	一般小売店[鮮魚](従業員)		・ゴールデンウィークの反動か、消費が伸び悩んでいる。
	百貨店(営業担当)		・天候要因に大きく左右されて客の動きが悪くなり、今まで上昇していた客単価も低下している。
	百貨店(営業担当)		・ゴールデンウィーク以降の商品の動きが悪い。特にヤングはメンズ、レディースともに悪い。
	スーパー(店長)		・ゴールデンウィーク、母の日とイベントが続いたが、物が動かず、購買意欲がみられない。
	衣料品専門店(総務担当)		・メーカーの新商品やブランド物の動きが鈍く、予定の売上にはほど遠い。
	一般レストラン(スタッフ)		・ゴールデンウィークは、児童公園や遊園地でコンビニの弁当を食べる人が多かったようである。
	タクシー運転手		・中洲で乗る客も減り、電話予約の客も回数減っている。
	悪くなっている		商店街(代表者)
		一般レストラン(スタッフ)	・ゴールデンウィーク明けから客足が減り、売上も減少している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
企業 動向 関連	良くなっている	電気機械器具製造業 (経営者)	・半導体関連の金型及び装置そのものの受注が増加しており、景気も良くなっている。
		精密機械器具製造業 (経営者)	・生産が追いつかない程受注が多く、特にIC関連の部品加工が非常に多くなっている。
	やや良くなっている	広告代理店(従業員)	・折込チラシも増加しており、景気は良くなってきている。
		輸送業[陸上貨物] (従業員)	・ここ3か月は段階的に売上、配達本数が増加している。
		経営コンサルタント	・今月に入り、仕事の引き合いが増えてきている。
	変わらない	輸送業[倉庫](従業員)	・商品の荷動きが良く取扱トン数も増えているが、単価が低く抑えられており、余り変わらない。
	やや悪くなっている	一般機械器具製造業 (経営者)	・受注が非常に減少している。業種別で勝ち負けが出てきており、取引先がどういう業種かで景気が左右される。
悪くなっている	-	-	
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	新聞社[求人広告] (担当者)	・新聞広告は悪かったが、地元の小さな求人広告は増えている。
	変わらない	人材派遣会社(社員)	・雇用が増加している様子はなく、余り変わっていない。
		求人情報誌製作会社 (総務担当)	・中途採用の求人紙の冊数が増加してきたが、新卒に関しては不透明である。
	やや悪くなっている	-	-
悪くなっている	-	-	

2. 景気の先行きに対する判断

2～3か月先の景気の先行きに対する判断は、以下のとおりであった。

(1) 全国の動向

分野別の景気の先行き判断D I

図表2-1-1 各分野における景気の先行き判断D Iの推移表

(D I)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
合計	51.1	54.6	54.9	55.5	54.2	
家計動向関連	49.4	53.2	53.8	53.5	52.7	
小売関連	49.7	52.7	53.3	53.1	49.2	
飲食関連	45.8	53.1	52.6	52.2	56.7	
サービス関連	50.9	54.0	54.9	53.9	55.7	
企業動向関連	52.3	55.8	53.8	58.5	56.5	
雇用関連	61.9	62.8	67.2	66.1	61.7	

(備考) 1月は関東を除く5地域の合計。

(2) 各地域の動向

地域別の景気の先行き判断D I (各分野計)

図表2-2-1 各地域における景気の先行き判断D Iの推移表 (各分野計)

(D I)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全国	51.1	54.6	54.9	55.5	54.2	
北海道	49.0	53.5	52.0	46.0	50.0	
東北	51.6	56.0	54.6	57.2	54.6	
関東		53.5	52.5	57.2	55.4	
東海	54.5	54.1	60.3	59.7	58.6	
近畿	51.1	54.7	54.4	57.5	54.2	
九州	49.2	55.5	55.3	55.6	52.7	

地域別の景気の先行き判断D I (家計動向関連)

図表2-2-2 各地域における景気の先行き判断D Iの推移表 (家計動向関連)

(D I)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全国	49.4	53.2	53.8	53.5	52.7	
北海道	46.2	51.1	50.0	42.7	48.3	
東北	50.4	53.4	53.5	54.6	51.8	
関東		51.1	50.8	57.2	54.5	
東海	53.4	53.5	59.2	56.6	57.3	
近畿	48.8	53.8	54.2	56.7	53.1	
九州	48.2	56.5	54.5	53.4	51.5	

(3) 景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

北海道

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	百貨店(売場主任)	・有珠山噴火のような暗い出来事がなければ、ミセス層に続いてそれ以外の層の購買意欲も上向いてくると思う。
		美容室(経営者)	・高料金の技術を求める客がわずかながら増えており、そのため、客単価が今後上昇することが期待される。
		住宅販売会社(従業員)	・客の来場が増加してきており、勢いがみられる。
	変わらない	商店街(代表者)	・ミセス層に関しては春物の単価に対する抵抗感がなくなりつつあるが、若年層は、低価格商品への関心が高いため、買うときにも吟味度合いが高い。そのため、総体的にみると変わらない。
		百貨店(売場主任)	・有珠山噴火の影響による観光客の落ち込みを受け、自治体がようやく動き出していることや、航空各社が値下げに動き出していることによる期待感はあるが、総選挙による影響も予想され、総体として景気は変わらない。
		スーパー(企画担当)	・主婦の財布のひもが固いというより、財布の中身が減っているという感覚である。今後も買い控えが続くと思う。
		スーパー(店長)	・一点単価が低下しており、販売点数も伸びていない。客の財布のひもが固い状態が今後も続く。
		家電量販店(店員)	・商品単価が低い。客が他店を回って、少しでも安いところで買おうとしている。
		家電量販店(店長)	・生活に必要と思われる商品に動きがあるが、趣味、し好の高い商品に関してはまだまだ鈍い状況にある。
		乗用車販売店(従業員)	・来店者数に変化の兆しがみえない。
		高級レストラン(スタッフ)	・夏以降、北海道の観光が見直されて、観光客が増加する。
		一般レストラン(スタッフ)	・パートの時間短縮等、雇用調整を引き続きせざるを得ない状況である。
		旅行代理店(従業員)	・有珠山噴火や総選挙の影響が懸念されるが、個人需要の好調さが下支えしているため、全体としては変わらない。
		タクシー運転手	・乗客との景気の話の8割方が、景気が良くないというものである。 ・深夜の仕事が目立って減少している。
	やや悪くなっている	百貨店(売場主任)	・夏の賞与がかなりカットされる、あるいはもらえないといった話が多く、夏物が動いていない。 ・ヤング層については、単価が低下しており、非常に厳しい。
		コンビニ(エリア担当)	・当地域の基幹産業が不振なため、良い方向には向かわない。
		タクシー運転手	・人出の減少が強まっていることによる売上への影響が深刻である。
	悪くなっている	商店街(代表者)	・最近ほどの業界、業種の客からも景気が悪いという声しか聞かれなくなった。
一般小売店[土産](店員)		・道外の人に、北海道全体に有珠山噴火の影響があるというイメージがあるため、夏の観光に影響がある。	
スナック(経営者)		・客の出足が非常に鈍い。早い時間の居酒屋でも客が入らなくなってきた。	
企業動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	非製造業[建設機械リース](総務担当)	・5月20日以降から本格的な稼動に入ったので、今後さらに良くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		非製造業[建設機械リース](営業担当)	・大型車両、建設機械等、販売台数は落ち込んでいるが、公共事業が本格化してくると良くなってくると思う。
		輸送業(総務担当)	・客からの輸送の引き合いも3か月前から比べると増加してきており、様々な産業活動が若干上向きであると感じる。
	変わらない		
	やや悪くなっている	その他製造業[印刷](経営者)	・入社説明会に、前年の1.5倍の学生が来た。学生の態度も非常に真剣であり、それだけ道内の就職状況は非常に厳しいと感じる。
		司法書士	・相次ぐ地場産業の倒産に加え、域内事業者に対する1か月半の公共事業の指名停止等によって、ますます景気が悪くなる。
悪くなっている	-	-	
雇用関連	良くなっている	人材派遣会社(社員)	・建設土木関係で少し動きがみられている。
	やや良くなっている	求人情報誌制作会社(編集者)	・貨物運送の求人件数が特に大きく伸びている。他の業種も全般にわたって伸びており、雇用に関しては今後も良い状況が続く。ただし正社員よりもアルバイトの求人が活発である。
		求人情報誌制作会社(編集者)	・求人件数の増加がそのまま続くとは思えない。今年は冷夏だという予想もある。
	変わらない	新聞社[求人広告](担当者)	・新店舗の遊技場広告、住宅関連や中古ディーラーなど、季節的な広告が増えてきている。しかし、従来の大型段数の広告が回復していない。
	やや悪くなっている		
悪くなっている	-	-	

東北

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	百貨店(広報担当)	・法人需要の回復はまだ難しいものの、中元商戦やサマークリアランスセールなどにより、短期の活性化があると考えられる。
		スーパー(従業員)	・客数の減少に歯止めがかかってきており、徐々に回復してきている傾向がうかがえる。
		乗用車販売店(従業員)	・今年に入ってから車の販売台数が順調に伸びている。
		一般レストラン(経営者)	・リストラ等により個人需要は低迷しているが、法人需要は少しずつ上向いている。
		観光型ホテル(経営者)	・夏休みは家族連れの旅行が増加する時期であり、加えて今年は選挙で抑えられていた団体旅行の増加が期待できる。
		都市型ホテル(スタッフ)	・秋口の宴会や婚礼等の予約が比較的順調に入ってきており、夏の企画等についても良い感触を得ている。
		テーマパーク(職員)	・団体の予約数が既に前年を上回っている。
		美容室(経営者)	・店内が活気づいてきている。 ・客との会話のなかでも失業の話などは出なくなっている。
	変わらない	百貨店(企画担当)	・郊外への大型店出店などにより、中心部への集客はますます減少傾向にあり、特に土日の集客数はこのところ減少している。 ・買上客単価も依然として前年割れの傾向が続いている。
		百貨店(売場主任)	・気温変動やキャンペーンの有無により、日々の売上の変動が大きく、先行きは不透明である。
		スーパー(店長)	・客数、客単価、買上点数に全く変化がみられず、この傾向に早急な改善は見込めない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店（経営者）	・夏物の衣料品は単価が低く、販売数量が伸びないと売上に結びつかないが、現在の人通りの状況では余り期待できない。
		高級レストラン（スタッフ）	・予約状況は良くなっているが、低価格のものが多く、売上増はなかなか難しい状況が続いている。
		一般レストラン（経営者）	・店の前の人通りは一時のにぎわいがなく、客の話も外食費等を節約するような話ばかりである。
		スナック（経営者）	・常連客の来店回数が減少している。
		旅行代理店（従業員）	・客数はやや回復基調にあるものの、相変わらず低価格化が進んでおり、売上は前年割れあるいは前年並みが続いている。
		タクシー運転手	・選挙が近づくといつも良くないので、余り期待できない。
		住宅販売会社（経営者）	・受注の見込みはあるが、成約までに時間がかかるようになってきている。
	やや悪くなっている	百貨店（売場主任）	・来客数が前年を上回る月が極めて少ない。 ・購入単価の低下傾向が続いている。 ・一部のトレンド商品は上向きであるが、メンズスーツや生鮮食料品関係が回復していない。
		コンビニ（エリア担当）	・売上、客単価とも減少傾向にある。
		衣料品専門店（店長）	・低価格のスーツなどに人気集中し、客単価の低下だけではなく一品単価の低下が最近顕著にみられる。
		インテリア専門店（店長）	・住宅着工件数もそれほど多くはなく、プライダで家具をそろえる客も徐々に少なくなっており、タンスやベッドが売れなくなっている。
		家電量販店（総務担当）	・売り出しキャンペーンにおいても大型家電が売れず、目玉商品しか売れない。
	悪くなっている	スーパー（総務担当）	・今後、競合他社の出店が予定されており、今以上に売上が減少するものと予想している。
企業動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業（従業員）	・取引先との会話でも、最近は景気が良くなってきているという話がかかり増えてきている。
		電気機械器具製造業（従業員）	・当社の業績は好調であり、業界全体でみてもまだ力強さには欠けるものの、これ以上悪くなることはなく上向きになるものと思われる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・2、3か月後からの受注増が見込まれる。
		広告代理店（従業員）	・6、7月のボーナス商戦に向けての広告出稿が増加している。
		輸送業〔航空貨物〕（従業員）	・今後の取扱貨物量の伸びがある程度期待できる。
	変わらない	食料品製造業（経営者）	・残業の圧縮や賃上げがほとんどないことに加え、特に夏場は水産業界を中心に売上が減少する季節に入るため、売上増は期待できない。
		広告代理店（従業員）	・受注増になるような特別な要素が見当たらない。
	やや悪くなっている	-	-
	悪くなっている	-	-
雇用関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・緊急雇用対策では、人材派遣業界の底上げとなる対策も打ち出されており、功を奏すれば若干改善されるものと期待される。
		人材派遣会社（社員）	・来年の新卒採用に向けて、採用人数をさらに増加させたいという企業が増えている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・積極的な発注や商談はほとんどない状況が続いている。
	やや悪くなっている	-	-
	悪くなっている	-	-

関東

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている		
	やや良くなっている	乗用車販売店(従業員)	・上半期の決算を迎えるので、来場者数の増加が見込まれる。
		一般レストラン(経営者)	・ボーナスなどで一時的に消費が増加する。
		都市型ホテル(スタッフ)	・7月には大きな大会の宿泊予約なども入っているので、好転する。
		ゴルフ場(支配人)	・周辺のゴルフ場をみると、低料金のコースで客が増加している。
		旅行代理店(従業員)	・7月に北海道向け団体旅行の動きがかなり出ている。
	変わらない	百貨店(売場主任)	・ディスカウンターとの競合で、クリアランスセールも厳しい。
		百貨店(買付担当)	・ヤングゾーンでは店舗過剰による競争激化から売上状況は厳しく、7月のクリアランスセールの開始が前年より早まる予定である。これによって客数は増加すると思われるが、単価が低下し、収支としては厳しい。
		スーパー(統括)	・単価の低下傾向が続いている。 ・衣料品のヒット商品が出ないと、今後の景気回復は見込めないと考える。 ・食品は引き続き好調と考える。
		コンビニ(店長)	・5月は、気温上昇が飲料などの売上に貢献したが、これから梅雨の季節は客足が鈍ると考える。
		家電量販店(店長)	・必要なものを必要なときに購入する現状が、定常状態になっているのではないかと考える。
		高級レストラン(支配人)	・宴会部門の受注金額がまちまちであり、全く先がみえない。
		その他サービス[語学学校](営業担当)	・具体的なものはないが、先行きの不透明感が未だぬぐえないので、変わらない。
やや悪くなっている	衣料品専門店(従業員)	・客数の増加がそれほど見込めないなかで、衣料メーカーの価格戦略により2千円以上単価を落としている商品もある。	
悪くなっている	-	-	
企業 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	電気機械器具製造業(経営者)	・受注残がかなり増加している。 ・他社の対応できない仕事に対して手伝いの要請も多くなってきている。
		その他企業[情報サービス](従業員)	・IT関連の商談は増えてきているので、景気は依然好調を保つ。
	変わらない	精密機械器具製造業(経営者)	・先の景気は不透明である。ゴールデンウィーク前後は設備投資に関する単品ものの仕事が増えていたが、それ以降の発注に関しては明確な回答が得られていない。
	やや悪くなっている	その他製造業[金属製品](経営者)	・今後の受注量増加が見込めず、単価の回復も余り期待できない。
悪くなっている	-	-	
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社(社員)	・求人広告を出しても、応募者が少ない。仕事が多くあり、選択できるという状況が今後も続くものとみられる。
		新聞社[求人広告](担当者)	・新聞広告の予約が3か月くらい先まで入っており、好況だと思う。
	変わらない	人材派遣会社(社員)	・今までは正社員の仕事と考えられていた業務についても、派遣で対応する傾向にある。しかし、今後派遣の受注が増加しても、増員という状況はあまり見込めない。ただし、短期間季節的に、特定業種での派遣需要の見込みは多少ある。
	やや悪くなっている	新聞社[求人広告](営業担当)	・時期的に中元関係の募集が出るので、少しは盛り上がりると予測できる。しかし、相当数の業務縮小、体制の編成があり、より厳しい状況となるのではないかと。
	悪くなっている	-	-

東海

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている		
	やや良くなっている	一般小売店[土産] (経営者)	・買物が売れ筋商品へ集中し、商品選別傾向は続いているが、財布のひも自体は緩んできている。
		百貨店(販売促進担当)	・購買の中心層である婦人向けの衣料品需要が回復しつつあり、これが他の商品にも波及していくと思われる。
		スーパー(店長)	・これまでは客単価にばらつきがあったが、客単価の底上げ傾向が顕著になってきている。
		コンビニ(エリア担当)	・ゲームソフト等話題商品については売行きが好調となり、売上に底上げが期待される。
		スナック(経営者)	・客の話題がやや明るくなっている。
		観光型ホテル(スタッフ)	・予約状況が宿泊、宴会ともに5~6%程度良い状況で推移している。
		テーマパーク(職員)	・県外等遠方からの来客者が増えてきている。
		旅行代理店(従業員)	・これまではエコノミークラスやディスカウントチケットを求める客が多かったが、ビジネスクラスの利用が増加している。
	変わらない	百貨店(企画担当)	・来客数の増加が望めない状況で、売上が上昇すると予想できる材料が特にない。
		スーパー(店長)	・婦人向け衣料はやや良くなっているが、基本部分である食料品の伸びが依然として弱い。
		スーパー(店長)	・無駄使いをしない傾向が続く一方で、不景気慣れした消費者は消費を少し活発化させるように思われる。
		家電量販店(店員)	・良くなるとは思えないが、オリンピック特需があって差し引きゼロだと思う。
		乗用車販売店(従業員)	・欲しい車はあるが、先のことを考えると乗れる間は今の車に乗るといった客が多い。
		乗用車販売店(従業員)	・高額商品の消費はまだ鈍く、大きな変化は期待できない。
		高級レストラン(スタッフ)	・高級食材を使った新メニューが比較的好調であるため、来客数の維持を期待している。
		一般レストラン(スタッフ)	・客単価が伸びない傾向は続くとみている。
		パチンコ店(店長)	・客単価はやや上昇しているが滞店時間に変化がなく、先行きにそれほど期待できない。
		タクシー運転手	・4月の年度替わり時期にあまり変化がみられなかったため、今年中に大きな変化はない。
	やや悪くなっている	コンビニ(店長)	・来客数の減少傾向が続くと思う。
乗用車販売店(従業員)		・来客数は増加しているが依然として客単価が低い現状であり、来客数の減少が予想される3か月先は厳しくなる。	
ゴルフ場(経営者)		・予約件数が減少傾向で、今後は昨年以上の値引き競争になるけはいがある。	
悪くなっている	-	-	
企業 動向 関連	良くなっている		
	やや良くなっている	広告代理店(従業員)	・求人広告と主婦向け広告の数が増加している。
		輸送業(エリア担当)	・景気を先導する自動車産業が良くなるけはいがある。
		司法書士	・顧客の中で、業績が好転している企業が増加している。
	変わらない	輸送業(エリア担当)	・貨物量は増加しているが単価が低迷し、全体として変化はないと予想される。
		会計事務所(所長)	・借入過多の中小企業が増えてきており、景気の好転はまだまだ先と思われる。
	やや悪くなっている		
悪くなっている	-	-	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
雇用 関連	良くなっている	求人情報誌製作会社 (編集者)	・3月末決算の数字を客が非常にポジティブにとらえており、人材を始めとした投資に非常に前向きに取り組むという情報を多く聞いている。
	やや良くなっている	人材派遣会社(社員)	・7～8月ごろの派遣需要があり、今後も派遣社員の需要は好調と思われる。
	変わらない	人材派遣会社(社員)	・定年退職やリストラの補充等で派遣需要は少しずつ伸びているが、全体として景気の上向きを感じさせる需要は少ない。
		アウトソーシング企業(エリア担当)	・東海地区の主要産業は比較的安定している。
		求人情報誌製作会社(編集者)	・若年層の採用は増加しているが、中高年の採用は厳しく、全体として大きな変化はない。
		新聞社[求人広告](担当者)	・年初の活発さと比べて、最近数か月の勢いはやや減速してきている。
	やや悪くなっている	-	-
悪くなっている	-	-	

近畿

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	一般レストラン(スタッフ)	・家族での利用が増加するとみられる。
		スナック(経営者)	・最近、客から余り深刻な話を聞かなくなっている。
		都市型ホテル(スタッフ)	・淡路花博により、集客が順調である。
		観光名所(経理担当)	・少数の客に限られるが、3～5万円の高級なオルゴールが少し売れるようになってきた。
		旅行代理店(営業担当)	・夏場の旅行の申込時期が若干早く、近距離の海外リゾート地の商品は満員のところも出始めている。
		旅行代理店(営業担当)	・休日の人出、旅行の申込が、月を追って増加してきている。
		住宅販売会社(営業担当)	・商談は成立していないが、客の動きが大変活発になっている。
		その他住宅[展示場](従業員)	・1年以内に家を建てたいという早期取得希望者が増加している。
	変わらない	商店街(代表者)	・週末の人出がまだ少なく、夕方以降の客の引きが早い。
		百貨店(売場主任)	・客の購買行動に大きな変化はなく、紳士服は苦戦、婦人服は善戦で、全般的に横ばいの状況が続く。
		百貨店(売場主任)	・売れ筋の商品がみつからず、売上の上昇の兆しがみられない。
		スーパー(経理担当)	・雇用不安やボーナスの上昇が見込めないことから、購買行動が上向き兆しがみられない。
		その他専門店[時計](経営者)	・所得環境が余り変わらず、消費はしばらく変化のない状況が続く。
		その他専門店[薬](経営者)	・客は価格に敏感であり、生活必需品であっても売り出し時のみの買上で、売上が増加しない。
		乗用車販売店(営業担当)	・客数が余り多くない。
		一般レストラン(スタッフ)	・売上が増加せず、これまで続いていた回復基調にややかげりがみられる。
		都市型ホテル(スタッフ)	・予約状況が予想したほど伸びていない。
		競輪場(職員)	・車券売上の動向をみる限り、回復基調にはほど遠い状況である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		タクシー運転手	・タクシー乗務員同士の情報交換でもさえない話ばかりで、明るい兆しが無い。
		美容室（経営者）	・客単価は上昇傾向だが、客数は減少している。
		美容室（店長）	・新規の客が増加していない。
	やや悪くなっている	その他専門店[宝石]（経営者）	・30代後半以上の客が中心であるが、リストラの影響を受けており、購入意欲はあっても、購入する資金が無い。
	悪くなっている	商店街（代表者）	・商店街の中型食料品店が閉店することになり、客足が一層離れる懸念がある。
コンビニ（経営者）		・来客数が減少している。	
企業動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	・受注量はそれほど増加していないが、見積件数がかなり増加しており、3か月後には受注が増加すると見込まれる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・出品した展示会の客数が予想より多かった。
		輸送業（営業所長） 経営コンサルタント	・荷動きからみて、通信分野が非常に良くなっている。 ・得意先の受注がやや増加傾向にあり、財務状況も改善している。
	変わらない	一般機械器具製造業（経営者）	・受注量が変わらない。
		司法書士	・現状の範囲内で無駄を省いて守りを固めているという状況であり、余り変化はない。
		その他企業[ネジ]（団体役員）	・本格的にユーザーの購買力が回復していない。
	やや悪くなっている	その他企業[タオル]（団体職員）	・輸入数量がますます増加しており、産地のメーカーへの受注量の回復が全く見込めない。
	悪くなっている	繊維工業（経営者）	・連鎖倒産の不安があり、買い控えがかなり進んでいる。
	雇用 関連	良くなっている	人材派遣会社（社員）
求人情報誌制作会社（編集者）			・特に製造業の求人件数が増加しており、他業界への波及も期待できる。
やや良くなっている		人材派遣会社（社員）	・周辺で起業が非常に活発である。
変わらない		人材派遣会社（経営者）	・全体的には若干ながら上向きの兆しはみられるが、具体的な好調要因は見当たらない。
やや悪くなっている			
悪くなっている		-	-

九州

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	家電量販店（企画担当）	・今年は天候が良いようなので、エアコンが良く出ている。 ・パソコンも好調である。
	やや良くなっている	商店街（代表者）	・ボーナス時期でもあるので多少期待はできるが、大きな伸びはないと思う。
		高級レストラン（スタッフ）	・リストラは進むが、大企業では夏のボーナスが去年よりも良さそうであり、消費も増加する。
		テーマパーク（職員）	・夏休みを迎え、プール等施設利用客の増加が見込める。
		パチンコ店（従業員）	・全体的な景気対策の効果が出始め、夏に向けてボーナスも出るので、今より良くなっている。
		旅行代理店（従業員）	・夏休み等で家族旅行が増える見込みであり、またY2K問題による旅行控えの反動で海外旅行が増加する。
	住宅販売会社（従業員）	・業界では来年6月まで減税が続くことから、若干上向くとみられる。	
変わらない	商店街（代表者）	・来街者が少なく、なかなか人が戻ってこない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		商店街（代表者）	・小売業については、消費者側の雇用問題、介護保険の負担金の増加で、出費を最小限に抑えられている。
		百貨店（売場主任）	・ボーナスの時期に入るが支給額も減少しているようであり、今後に期待はできない。
		スーパー（店長）	・目的外の物を衝動的に買わない傾向が続いている。 ・価格や時期的な要因により当たる時もあるが、それ以外は苦しい状況が続いている。
		家電量販店（店長）	・パートの求人を行うと相変わらず新卒の応募が多い。
		一般レストラン（経営者）	・サミットがあるが、波及効果は期待できない。
		一般レストラン（スタッフ）	・常連客が減り、市内でイベントがある時以外は、客は減少している。
		ゴルフ場（支配人）	・土曜日のコンペも非常に少なく、明るい材料は見当たらない。
		競輪場（職員）	・客の所得が増えていない状況では、3か月先も良くなるとは期待できない。
		タクシー運転手	・昼間の客は増加しているが、夜は閉店時間が早くなったため、12時ごろには客がいない。
		住宅販売会社（従業員）	・展示会等の集客はかなりあるが、契約まで結びつかない。
	やや悪くなっている	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・一般消費者が出費を手控えており、消費する金額が減少している。
		百貨店（営業担当）	・3、4月は持ち直すように思われたが、急に悪くなってきている。株価の下落や更なるリストラ等で厳しい状況が続く。
		スナック（経営者）	・夏場に向かい日が延びるので客の出足も遅くなり、客数も減ってくる。
悪くなっている			
企業動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	・半導体関連の引き合いが増えるなか、今後やや良くなると確信している。
	変わらない	一般機械器具製造業（経営者）	・半導体、情報通信関連分野がどれだけ景気を引っ張れるかが課題である。
		電気機械器具製造業（経営者）	・今の景気の良い状態が続く。
		精密機械器具製造業（経営者）	・新規の引き合いがまだまだ増えつつある状況なので、この状態が続くとみられる。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	・設備投資をするまでもないが、現状のままフル稼働する仕事量が2、3か月先も続きそうである。
		広告代理店（従業員）	・現在の状況が大変良いので、これ以上良くなるとは思えない。
	やや悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	・今月、来月がピークなので、3か月後は受注が減少している。
	悪くなっている		
雇用関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	求人情報誌制作会社（総務担当）	・新卒がどうなるかわからないが、中途採用及び派遣に関しては微増である。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・IT関連の事業を始めたいなど、周りに明るい話題が増えてきている。
	変わらない		
	やや悪くなっている	-	-
	悪くなっている	-	-

(参考) 現在の景気水準に対する判断

現在の景気的水準自体に対する判断は、以下のとおりであった(注)。

図表 - 参考 - 1 各分野における景気の現状水準判断D Iの推移表

(D I)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
合計	32.0	37.0	46.1	46.0	43.0	
家計動向関連	29.7	34.9	43.6	42.7	39.1	
小売関連	29.2	37.0	40.8	41.6	36.7	
飲食関連	28.6	31.1	45.7	37.5	37.9	
サービス関連	31.1	33.5	46.6	45.4	42.0	
企業動向関連	33.6	39.1	48.5	53.4	51.5	
雇用関連	47.0	50.5	60.9	57.8	56.4	

(備考) 1月は関東を除く5地域の合計。

図表 - 参考 - 2 各地域における景気の現状水準判断D Iの推移表(各分野計)

(D I)	平成12年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全国	32.0	37.0	46.1	46.0	43.0	
北海道	31.5	36.6	40.0	36.8	38.0	
東北	26.6	36.5	43.6	45.4	40.1	
関東		33.1	46.4	45.6	44.4	
東海	40.8	41.8	52.0	48.5	49.5	
近畿	27.2	33.6	41.9	47.8	41.1	
九州	33.2	40.4	52.6	53.1	45.2	

(注) 景気の現状をとらえるには、景気の方角性に加えて、景気的水準自体について把握することも必要と考えられることから、参考までに掲載するものである。

(別紙) 景気ウォッチャー(調査客体)の地域別・分野別構成

	北海道		東北		関東		東海	
合計	100	100.0%	100	100.0%	100	100.0%	100	100.0%
家計動向関連	72	72.0%	73	73.0%	70	70.0%	73	73.0%
小売関連	36	36.0%	35	35.0%	25	25.0%	35	35.0%
商店街代表者	5	5.0%	4	4.0%	1	1.0%	1	1.0%
一般小売店経営者・店員	1	1.0%	2	2.0%	2	2.0%	5	5.0%
百貨店売場主任・担当者	5	5.0%	7	7.0%	6	6.0%	5	5.0%
スーパー店長・店員	5	5.0%	6	6.0%	5	5.0%	6	6.0%
コンビニエリア担当・店長	5	5.0%	4	4.0%	4	4.0%	6	6.0%
衣料品専門店経営者・店員	3	3.0%	3	3.0%	2	2.0%	0	0.0%
インテリア専門店経営者・店員	0	0.0%	2	2.0%	0	0.0%	0	0.0%
家電量販店経営者・店員	5	5.0%	2	2.0%	2	2.0%	3	3.0%
その他専門店経営者・店員	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	3	3.0%
乗用車・自動車備品販売店経営者・店員	7	7.0%	4	4.0%	3	3.0%	6	6.0%
卸売業従事者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他小売の動向を把握できる者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
飲食関連	12	12.0%	11	11.0%	13	13.0%	9	9.0%
高級レストラン経営者・スタッフ	5	5.0%	3	3.0%	2	2.0%	2	2.0%
一般レストラン経営者・スタッフ	2	2.0%	4	4.0%	6	6.0%	3	3.0%
スナック経営者	4	4.0%	3	3.0%	5	5.0%	4	4.0%
その他飲食の動向を把握できる者	1	1.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%
サービス関連	20	20.0%	22	22.0%	29	29.0%	24	24.0%
観光型ホテル・旅館経営者・スタッフ	1	1.0%	5	5.0%	0	0.0%	1	1.0%
都市型ホテル・旅館経営者・スタッフ	0	0.0%	4	4.0%	4	4.0%	3	3.0%
観光名所・遊園地・テーマパーク職員	1	1.0%	3	3.0%	0	0.0%	6	6.0%
ゴルフ場経営者・従業員	0	0.0%	0	0.0%	3	3.0%	1	1.0%
パチンコ店経営者・従業員	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.0%
競輪・競馬・競艇場職員	0	0.0%	3	3.0%	2	2.0%	0	0.0%
その他レジャー施設職員	0	0.0%	0	0.0%	2	2.0%	0	0.0%
旅行代理店経営者・従業員	5	5.0%	2	2.0%	4	4.0%	3	3.0%
タクシー運転手	7	7.0%	3	3.0%	6	6.0%	3	3.0%
美容室経営者・従業員	5	5.0%	2	2.0%	2	2.0%	3	3.0%
ガソリンスタンド従業員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%
その他サービス等の動向を把握できる者	0	0.0%	0	0.0%	6	6.0%	1	1.0%
住宅関連	4	4.0%	5	5.0%	3	3.0%	5	5.0%
設計事務所所長・職員	1	1.0%	2	2.0%	1	1.0%	2	2.0%
住宅販売会社経営者・従業員	3	3.0%	3	3.0%	2	2.0%	3	3.0%
その他住宅投資の動向を把握できる者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
企業動向関連	19	19.0%	19	19.0%	23	23.0%	19	19.0%
地域の産業構造上特色ある企業経営者・従業員	10	10.0%	10	10.0%	17	17.0%	5	5.0%
農林水産業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
食料品製造業	3	3.0%	6	6.0%	2	2.0%	1	1.0%
繊維工業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
家具及び木材木製品製造業	1	1.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%
一般機械器具製造業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
電気機械器具製造業(精密機械も含む)	0	0.0%	3	3.0%	5	5.0%	1	1.0%
輸送用機械器具製造業	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	2	2.0%
その他製造業	1	1.0%	0	0.0%	4	4.0%	1	1.0%
非製造業	5	5.0%	0	0.0%	5	5.0%	0	0.0%
広告代理店従業員・新聞販売店[広告]店主	1	1.0%	4	4.0%	3	3.0%	4	4.0%
輸送業関係者	3	3.0%	3	3.0%	2	2.0%	6	6.0%
司法書士・経営コンサルタント・会計事務所職	3	3.0%	2	2.0%	1	1.0%	4	4.0%
コピーサービス業店員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他企業の動向を把握できる者	2	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
雇用関連	9	9.0%	8	8.0%	7	7.0%	8	8.0%
人材派遣会社社員・アウトソーシング企業社員	2	2.0%	6	6.0%	3	3.0%	3	3.0%
求人情報誌製作会社編集者	4	4.0%	0	0.0%	2	2.0%	3	3.0%
新聞社[求人広告]担当者	3	3.0%	2	2.0%	2	2.0%	2	2.0%
その他雇用の動向を把握できる者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

(単位：人 / %)

近畿		九州		全国合計	
100	100.0%	100	100.0%	600	100.0%
68	68.0%	72	72.0%	428	71.3%
32	32.0%	35	35.0%	198	33.0%
7	7.0%	10	10.0%	28	4.7%
0	0.0%	3	3.0%	13	2.2%
4	4.0%	4	4.0%	31	5.2%
4	4.0%	6	6.0%	32	5.3%
3	3.0%	4	4.0%	26	4.3%
2	2.0%	2	2.0%	12	2.0%
1	1.0%	1	1.0%	4	0.7%
2	2.0%	3	3.0%	17	2.8%
5	5.0%	0	0.0%	9	1.5%
3	3.0%	1	1.0%	24	4.0%
1	1.0%	0	0.0%	1	0.2%
0	0.0%	1	1.0%	1	0.2%
8	8.0%	8	8.0%	61	10.2%
2	2.0%	2	2.0%	16	2.7%
4	4.0%	3	3.0%	22	3.7%
2	2.0%	3	3.0%	21	3.5%
0	0.0%	0	0.0%	2	0.3%
23	23.0%	23	23.0%	141	23.5%
2	2.0%	2	2.0%	11	1.8%
3	3.0%	1	1.0%	15	2.5%
3	3.0%	0	0.0%	13	2.2%
1	1.0%	3	3.0%	8	1.3%
0	0.0%	5	5.0%	8	1.3%
3	3.0%	2	2.0%	10	1.7%
1	1.0%	0	0.0%	3	0.5%
2	2.0%	2	2.0%	18	3.0%
3	3.0%	6	6.0%	28	4.7%
4	4.0%	2	2.0%	18	3.0%
1	1.0%	0	0.0%	2	0.3%
0	0.0%	0	0.0%	7	1.2%
5	5.0%	6	6.0%	28	4.7%
1	1.0%	2	2.0%	9	1.5%
2	2.0%	4	4.0%	17	2.8%
2	2.0%	0	0.0%	2	0.3%
23	23.0%	20	20.0%	123	20.5%
11	11.0%	13	13.0%	66	11.0%
0	0.0%	1	1.0%	1	0.2%
0	0.0%	3	3.0%	15	2.5%
2	2.0%	0	0.0%	2	0.3%
0	0.0%	0	0.0%	2	0.3%
3	3.0%	1	1.0%	4	0.7%
3	3.0%	4	4.0%	16	2.7%
0	0.0%	3	3.0%	6	1.0%
2	2.0%	1	1.0%	9	1.5%
1	1.0%	0	0.0%	11	1.8%
3	3.0%	3	3.0%	18	3.0%
2	2.0%	3	3.0%	19	3.2%
3	3.0%	1	1.0%	14	2.3%
0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4	4.0%	0	0.0%	6	1.0%
9	9.0%	8	8.0%	49	8.2%
5	5.0%	3	3.0%	22	3.7%
2	2.0%	2	2.0%	13	2.2%
1	1.0%	3	3.0%	13	2.2%
1	1.0%	0	0.0%	1	0.2%